

平成25年度 事業報告

公益財団法人 佐倉国際交流基金

平成25年度 事業報告書

公益財団法人 佐倉国際交流基金

I. 事業の実施状況

1. 国際相互理解推進事業〔公益目的事業 1〕

1) 公開講演会（佐倉市と共催）

・テーマ：「中国・社会主義市場経済の行方」

講師：柯 隆 氏 （富士通総研経済研究所 主席研究員）

場所：志津コミュニティセンター

開催日：平成25年6月29日（土）

来場者：310名

・テーマ：「東アジアにおける米国・中国の動き」

講師：孫崎 享 氏 （元外務省 国際情報局長）

場所：志津コミュニティセンター

開催日：平成25年10月5日（土）

来場者：400名

2) 佐倉市国際文化大学

国際政治・経済・文化等をテーマに年間20回に亘る通常講座と2回の公開講座(上記を参照)を開催した。

講師：大学教授等専門領域の有識者

場所：佐倉市中央公民館・志津コミュニティセンター等

開催日：5月～11月の土曜日

受講生：104名 修了者 92名、皆勤者 9名

延べ受講者数：1,879名(出席率 82.1%)

3) 佐倉国際スピーチコンテスト（佐倉市と共催・佐倉市教育委員会後援）

国際交流意識の啓発を目的に小、中学生の英語スピーチコンテスト並びに外国人の日本語スピーチを実施した。

また、25周年事業費を使って、会場で使用する横断幕、スピーチ、レシテーションそれぞれの優勝者に授与するトロフィーとメダルを購入した。

テーマ：自由

審査委員：ネイティブの大学英語講師・A.L.T・高校英語教師による
(審査結果公表)外国人の日本語スピーチは審査せず。

場所：ミレニアムセンター佐倉

開催日：平成25年9月29日（日）

出場者：中学生 レシテーション 16名

中学生 スピーチ 7名
小学生 61名
外国人 3名

来賓 3名、審査員3名
スタッフ 運営委員 4名、当日ボランティア 3名、
佐倉市役所 2名、事務局3名

4) イングリッシュ・サロン

平成22年度までの「みんなの楽しい英語」の趣旨に沿った事業で、ネイティブの外国人と英語によるコミュニケーションを体験することにより、英語力向上のきっかけを得るとともに、体験活動を通じて、多文化共生と国際交流感覚を醸成することを目的として開催した。

2人の外国人が進行役として、それぞれ年間6回担当し、年間12クラス開催した。最初は、固かったものの、徐々に雰囲気も打ち解け、英語でのコミュニケーションを楽しめたと好評であった。

開催日数 6回（12クラス）
参加者 延べ119名、
出席率 83%
ファシリテーター(進行役) 2名
運営委員 5名

5) 佐倉国際交流のつどい（佐倉市と共催）

昨年までの「異文化交流のつどい」を「国際交流のつどい」と名称変更し、文化の違いを知るといよりも、外国人と日本人が同じ地域の仲間として交流する場を提供し、多文化共生社会への一助になることを目指した。佐倉市との共催事業とし、インド・ネパール料理シリザナ様、岩淵薬品（株）様から、協賛をいただいて10月19日志津コミュニティ・センターで開催された。今年もキャッチ・コピーは「手をつなぐ、心をつなぐ、世界の輪」とし、230人の市民（うち外国人15人）が、参加、外国人の来場者が若干少なかったものの皆さん大いに楽しんでいた。

・開催イベント/ブース

盆踊り、ハロウィーン・タイム、太極拳、福引、フェア・トレード紹介、フリー・マーケット、コーヒー、カレーパン、抹茶、書道、折り紙、紙飛行機、けんだま、イギリスのケーキ作り教室、国際ふれあいコーナー

・参加者：約230名 うち外国人：約15名

・スタッフ：運営委員 5名、ボランティア 10名、

佐倉市 3名、事務局3名 協力団体関係者 44名
 *スタッフのうち外国人ボランティア：5名

2. 国際交流活動支援事業[応募申請型]〔公益目的事業 2〕

国際交流親善・多文化共生の啓発に寄与すると判断される団体・グループ等の活動支援[当基金の助成金交付内規による助成金支援]である。平成25年度に助成金を交付した団体と事業は下記のとおりである。

事業名	団体名	助成金
佐倉ポルトガル語同好会	ポルトガル語学習	20,000
中国語中級会話同好会	中国語中級会話学習	10,000
OK さくら	垣見一雅さん帰国講演会	20,000
佐倉中文会	中国語の学習及び中国との交流活動	20,000
佐倉かたりべの会	ニコラ・グロウブの豊かな語りの世界	15,000
佐倉日蘭協会	日蘭児童交流	150,000
NPO 佐倉こどもステーション	イレーネ・ミヤーさんの演劇ワークショップ	20,000
日中友好協会	中国語教室	20,000
日中友好協会	親善訪問（天津ほか）	50,000

(助成金合計 325,000円)

3. 外国人支援事業（佐倉市国際化推進事業受託）〔公益目的事業 3〕

1) 外国人のための日本語講座

市内在住の外国人を対象に日本語で意思疎通が可能となるよう日常会話を中心とした講座を開催した。

(1) 開講クラス

- ・毎週木曜日（午前・午後 合計3クラス）
 *午後はベビーシッター制度あり
 会場：志津コミュニティセンター
- ・毎週金曜日（夜間 1クラス）
 会場：ミレニアムセンター佐倉
- ・隔週土曜日(1クラス)
 会場：レインボープラザ佐倉
- ・毎週日曜日(午前 合計4クラス)
 会場：中央公民館、レインボープラザ佐倉

(2) 事業状況

受講者 年間合計 1,539 名 (平均 43 名が受講)

年間クラス 年間合計 353 クラス

日本語ボランティア 年間合計 602 名

(ボランティア数 平均 16 名、コーディネーター 5 名)

ベビーシッター 年間合計 208 名(平均 5.9 名)

教室での学習だけでなく、外に出て、日本人とのコミュニケーションを体験するイベントを実施した

- ・佐倉高校生との交流会(11月2日)
- ・国立歴史民俗博物館訪問(11月23日)
- ・救命講習会(3月8日)
- ・バス研修(佐原)(3月15日) *管理費の25周年記念費用で実施

2) 外国人のための生活相談

佐倉国際交流基金の事務局内に、外国人を対象とした生活全般に係る相談窓口を置き、相談員3名を配置し、電話及び面接による相談を実施した。また、相談員が不在の場合、必要に応じて交流基金事務局長、あるいは事務局員が生活相談を実施した。

1. 英語による相談受付	毎週木曜日	48回
2. 中国語による相談受付	毎週金曜日	47回
3. スペイン語による相談受付	毎週火曜日	49回
○相談件数	94 件	144回
○運営会議	3 回	(事務局と担当者<個別>)

4. その他 附帯事業

1) 佐倉・国際交流ボランティア活動

20件のボランティア支援の依頼を受け、のべ169人のボランティアに支援活動をしていただいた。

- ・外国人児童・生徒の支援 (日本語適応授業、面談の通訳など) (6件)
- ・英検模試講座の活動支援
- ・アフリカ開発会議 in 横浜 参加者の出迎え (成田空港)
- ・日本語個別指導 (3件)
- ・医療通訳 (3件)
- ・夏休み外国人児童学習支援 (13名参加)
- ・就学時健康診断の通訳 (スペイン語)
- ・タイ在住の親族との電話連絡 (タイ語)
- ・佐倉高校での外国人との交流会
- ・佐倉東高校での外国人の人権についての講演
- ・地域で孤立している外国人家庭の支援

2) 後援事業

下記事業を後援した。

- ・房総日本語ボランティアネットワーク主催

「日本語を母語としない親と子どものための進路ガイダンス」

- ・佐倉日蘭協会主催

オランダ事情講演会「安楽死合法化への道—オランダの動向を参考にし
て—」

3) 機関誌の発行

基金 LETTERS を発行（7月・11月）し事業の実施状況やボランティア
の活動などについて情報を提供した。

4) ホームページの活用

分かりやすく覚えやすいURLを取得し、基金ホームページを使って当基
金の事業概要・行事・その他財務状況などを掲載し公告の一助とした。

平成 25 年 1 月にホームページを全面的に見直し、より使いやすい、見や
すいホームページにリニューアルした。

ホームページアドレス：<http://www.sief.jp>

5) 賛助会員

平成 25 年度から個人会員の会費が一口 2000 円に値下げされたことと、
平成 24 年 3 月 1 日付で入場料の割引が国立歴史民俗博物館から認可され、
会員特典も増えたことを強調し、佐倉市国際文化大学やイングリッシュサ
ロンの参加申し込み時にプロモーション活動を実施した結果、25 年度の
新規会員数は、59 名に達した。結果として、賛助会費収入は、年間予算
を約 1 割上回った。

6) パソコンの更新

2014 年 4 月の、Windows XP のサポート終了までに、Windows 7 以
上のパソコンに移行する必要があったので、11 月下旬に 2 台のパソコン
を購入し、導入、データの移行を行った。メールや、データはすべて新し
いパソコンに移し、業務継続上の問題は発生しなかった。

7) 公益法人定期提出書類

平成 23 年 6 月末に電子申請で報告した定期提出書類に不備があるとの指
摘が平成 25 年 9 月にあり、政策法務課と 10 月から 1 月にかけて、報告
内容の精査、調整をした。内閣府作成の公益法人用システムに不備が非常
に多いので、政策法務課の協力を得て簡単に正しい報告資料が作成できる
ための仕組み（Excel プログラム）を作成した。

以 上

<参考資料>

1. 賛助会員数 (平成 26 年 3 月 31 日現在)

個人会員 217 人 (174)
 内、市外の会員 8 人 (12)
 外国人 1 人 (0)
 団体会員 9 団体 (9)
 法人会員 12 法人 (13)

()は昨年度の実績

2. ボランティアバンク登録者数

2014 年 (平成 26 年) 3 月 31 日現在
 279 (315) 名 (重複登録有り)

日本語講師		105 (101)
通訳・翻訳		245 (240)
内 訳	英 語	128 (123)
	スペイン語	25 (25)
	ポルトガル語	10 (10)
	中国語	35 (35)
	フランス語	12 (12)
	インドネシア語	3 (3)
	ロシア語	4 (4)
	タイ語	5 (5)
	スウェーデン語	1 (1)
	ドイツ語	5 (5)
	韓国語	12 (12)
	タガログ語 (リサヤ語)	2 (2)
	イタリア語	1 (1)
スリランカ語	2 (2)	
ホームステイ・ビジット		46 (44)
イベント手伝い		164 (163)
ベビーシッター		30 (30)
車の運転		26 (26)
その他		86 (83)

()は昨年度数

3. 役員、評議員に関する事項

(1) 役員・評議員名簿

役員（理事・監事）（平成26年3月31日現在・敬称略）

役員名	氏名
理事長	宍倉昌男
副理事長	熊谷隆夫
常務理事	石塚孝男
理事	伊藤三郎
理事	岩城正明
理事	大久保純一
理事	岡村美智子
理事	笹沼和男
理事	鈴木博
理事	山田滋
監事	石渡孝
監事	熊崎久雄

任期 平成25年5月29日から平成27年評議員会まで

評議員（平成26年3月31日現在・敬称略）

	氏名
評議員	安達文夫
評議員	岩崎肇
評議員	大川靖男
評議員	小柳啓一
評議員	佐久間文麗
評議員	角田和弘
評議員	長谷川稔
評議員	堀川義勝
評議員	山倉洋和
評議員	山田朝子

任期 平成23年4月1日から平成27年評議員選定委員会まで

(2) 役員会等

☆定例理事会（役員会） 平成25年5月13日（月）

議 題

- ・第1号議案 公益財団法人佐倉国際交流基金 平成24年度事業実績報告について

- ・第2号議案 公益財団法人佐倉国際交流基金 平成24年度決算報告について
監事より監査結果の報告
- ・第3号議案 公益財団法人佐倉国際交流基金 平成25年度助成金交付について
- ・第4号議案 公益財団法人佐倉国際交流基金 平成25年度評議員会開催について
理事数 10人
役員数 12人（理事10人 監事2人）
理事出席数 7人 監事出席数 1人
議決結果 原案どおり可決

報告事項

- ・公益財団法人佐倉国際交流基金 定款の変更について

☆定例理事会（役員会） 平成25年3月13日（木）

議 題

- ・第1号議案 公益財団法人佐倉国際交流基金 平成26年度事業計画（案）について
- ・第2号議案 公益財団法人佐倉国際交流基金 平成26年度事業予算（案）について
- ・第3号議案 公益財団法人佐倉国際交流基金 定款改訂（案）について
- ・第4号議案 公益財団法人佐倉国際交流基金 賛助会費規程改訂（案）について
理事数 10人
役員数 12人（理事10人 監事2人）
理事出席数 8人 監事出席数 1人
議決結果 原案どおり可決

報告事項

- (1) 千葉県立入検査にともなう会計処理の変更
- (2) 佐倉市国際文化大学 平成26年度カリキュラムについて
- (3) 役職員旅費規程・事務員の雇用に関する要綱について

★評議員会 平成25年5月29日（水）

議 題

- ・第1号議案 公益財団法人佐倉国際交流基金 平成24年度事業実績報告について
- ・第2号議案 公益財団法人佐倉国際交流基金 平成24年度決算報告について
監事より監査結果の報告
- ・第3号議案 公益財団法人佐倉国際交流基金 理事の選任について
- ・第4号議案 公益財団法人佐倉国際交流基金 定款の変更について
評議員数 10人
評議員出席数 7人
議決結果 原案どおり承認

報告事項

- (1) 平成25年度事業計画・予算書
- (2) 平成25年度助成金交付について

◇三役会

平成 25 年 4 月 11 日（木）

平成 24 年度事業報告・決算案の検討、第 1 回定例理事会・評議員会の議案検討、第 1 回助成金審査など

平成 25 年 9 月 18 日（水）

事業執行状況・予算執行状況の確認、佐倉市監査結果の確認、助成金追加申請の審査など

平成 25 年 12 月 11 日（水）

事業執行状況・予算執行状況の確認、平成 26 年度事業方針・予算方針など

平成 26 年 2 月 18 日（火）

事業執行状況・予算執行状況の確認、懸案事項の検討、平成 26 年度事業計画・予算案の決定、理事会日程・議題の検討など

4. 契約に関する事項

契約締結年月日	相手方	締結の内容	契約金額
平成 25 年 4 月 1 日	佐倉市	佐倉市国際化推進事業	1,500,000 円

5. 寄附金、協賛金等

(1) 寄附金ご協力者 (敬称略)

氏名	寄附金額	受取日
岡部 グニラ	10,000 円	平成 25 年 9 月 29 日
岡村 美智子	9,000 円	平成 25 年 9 月 29 日
林 宏之	5,000 円	平成 25 年 4 月 26 日

寄附金は、指定正味財産として定期預金に預入

(2) 協賛金ご協力者 (敬称略)

氏名	金額	協賛いただいた事業
佐倉ライオンズクラブ	20,000 円	佐倉国際スピーチコンテスト
佐倉ロータリークラブ	10,000 円	佐倉国際スピーチコンテスト
DIC 川村記念美術館	10,000 円	佐倉国際スピーチコンテスト

協賛金は「佐倉国際スピーチコンテスト」の事業費に全額支出

(3) その他協賛としてのご協力者（敬称略）

氏名	内容	協賛いただいた事業
岩淵薬品（株）	健康食品の提供（福引景品） 10,000 円	佐倉国際交流のつどい
インド・ネパール料理 シリザナ	食事券の提供（福引景品） 5,000 円	佐倉国際交流のつどい